

## 研究協力のお願

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

体外衝撃波結石破砕術(ESWL)における呼吸性変動を考慮した最適標的位置の検討

### 1. 研究の対象および研究対象期間

2016年4月～2022年3月に当院で4DCT撮影を受けられた方

### 2. 研究目的・方法

近年、生活習慣の欧米化による生活習慣病の増加に伴い、尿路結石(腎結石・尿管結石・膀胱結石)は増加の一途を辿っている。

尿路結石の治療法は体外衝撃波結石破砕術(ESWL)、経尿道的結石除去術(TUL)、経皮的結石除去術(PNL)があり、主に結石の径などから治療法を決定している。中でも、ESWLは外来治療が可能であり比較的安価なことから、ますます需要が高まっている。

しかし、ESWLは他の治療法とは異なり、透視下で結石を観察して衝撃波を与えるため必ずしも完全に破砕できるとは限らないこと、鎮静剤は使用するものの体内の結石が呼吸変動により標的が目的点とはずれている可能性があること、標的位置の決定が術者によって異なっていること、などの問題点が挙げられる。

そこで我々は、呼吸性変動を考慮するため、四次元CT(4DCT)の画像を用いて、ESWLにおける最適な標的位置について検証したので報告する。

本研究は学術研究であり、4DCTを撮影した患者データを利用する。患者データは病院内の診療録管理室にて「3. 研究に用いる試料・情報の種類」に記載した情報を取得する。取得した情報は、本研究者間のみ情報を共有する。

診療情報の利用に伴う同意取得の方法：院内掲示によるオプトアウトを行う。研究概要（研究目的・調査内容等）を適切に通知・公開し、診療録情報の利用について適切な拒否機会を与える。

### 研究期間

2018年10月22日から2022年3月31日まで

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

2016年4月から2022年3月までに当院で4DCTを撮影している患者において、撮影に関する背景(年齢、

性別、身長、体重)および臨床検査項目(CT)を調査項目とする

#### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学藤が丘病院 研究責任者：坪井 友紀

住所：227-0043 神奈川県横浜市青葉区藤が丘1丁目30 電話番号：045-974-6230